

大西茂 写真と絵画 Onishi Shigeru: Photography and Painting

超 数 学 的 美 術

写

真と

絵

画

大西茂

大西茂 写真と絵画 Onishi Shigeru: Photography and Painting

大西茂 写真と絵画 Onishi Shigeru: Photography and Painting

ing

2026.1.31 sat - 3.29 sun



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

大西茂 写真と絵画 Onishi Shigeru: Photography and Painting

Press Release

プレスリリース 2025.10.29

芸術の舞台に、

岡山県に生まれた大西茂（1928-1994）は、

北海道大学で数学を研究するかたわら、

位相数学（トポロジー）を応用した

独自の創造を追求しました。

この度、東京ステーションギャラリーでは、

日本の美術館では初となる大西茂の回顧展を開催します。

数学・写真・絵画を越境する思索と創作で

国際的に活躍した戦後日本美術の鬼才——。

数理を究め、激しく躍動する造形表現を探求した

彼の全貌を紹介する展覧会です。

熱い時代が呼応した！ 圧倒的な迫力＆存在感をほこる墨の抽象画

戦後日本が躍動を始めた1950年代、大西は独創的な絵画作品を世に問いました。折しもミシェル・タピエが唱導する「アンフォルメル」の旋風が日本美術界に吹き荒れ、具体美術協会をはじめ多くの芸術家たちが、熱く激しい芸術表現を実践しました。大西が人知れず取り組んでいた絵画は、タピエに見いだされて世に紹介され、同時代の評論家たちを瞠目させます。縦横無尽、怒涛のような線のうねりは圧巻の見ごたえ。本展では、長辺2～3メートルの特大サイズの絵画も複数展示される予定です。集散する墨の形象が見せる無限の広がりの中に、体ごと沈んでいくような感覚を体験できるでしょう。

アンフォルメルの何たるかを知っている大西は、
伝統的な技法を用いる勇気をもっている。（中略）
大西は証しているのだ、
今日が提示しうるもっとも高らかに明白なもの、
すなわちもっとも情熱をかきたてる困難なものを。

——ミシェル・タピエ（大西茂個展パンフレットより、1960年4月）

忽然と現れた数学者

写真制作とはかくあるべし！ 写真評論家を唸らせた自己流の探求

リアリズムやジャーナリズムが写真の主流とみなされた時代、大西の写真はまさに「規格外」でした。多重露光、ソラリゼーション（白黒反転）、沸騰した現像液の不均一な塗布など、さまざまなテクニックを自己流で組み合わせ、大西は激しく錯綜したイメージを作り出しました。それらは「超無限」——彼の数学研究の核心にある難解な概念を直観させる、超越的なビジュアルを示しています。写真の新しい可能性をめざした国際的な動向「主観主義写真」がドイツから日本へ伝わると、大西の写真はこれに呼応し、時代を牽引する表現として高く評価されました。

明確な表現内容、その内容を表現するための純粋な技術、
奔放な作画態度と、にも拘らず、少しも失われることのない繊細な詩情、
反転二重焼付、合成等々すべて自己流に発展させ、
自在にその技術を駆使しながら、ひたむきに自分を打出すその激しさ。

——福島辰夫（「大西茂写真展」『日本カメラ』第62号、1955年6月）

全仕事が見られるのは日本初！ 資料も含めた全貌の紹介は世界初！

瀧口修造や芳賀徹ら多くの評論家に称賛され、ミシェル・タピエによってヨーロッパにまで紹介された大西茂。しかし彼は世事や名利にとらわれることなく、ただひたすら“求道”の制作に没頭しました。そのため生前の人的交流が希薄だったこともあり、没後しばらくの間、彼の芸術が広く語り継がれることはありませんでした。転機が訪れたのは2010年代。日本とフランスで写真展が開催されたのをきっかけに、アンフォルメル国際展の展開に注目する欧米のキュレーター・美術史研究者の眼にとまり、その重要性が指摘されました。ニューヨーク MoMA に写真作品が収蔵され、アムステルダム FOAM では写真展が、バレンシア Bombas Gens Centre d'Art では写真と絵画による個展が開催されるに至ります。本展では、現存する千点以上の写真と絵画の中から傑作を厳選して展示。加えて、大西のもう一つの「表現」である数学研究の遺稿をはじめ豊富な資料も展示して、その全貌を明らかにする世界初の機会となります。



001 | 対応 1957年頃



002 |



005 | 題不詳 1950年代



006 | ほころびた視覚 1957年頃



007 | 題



010 | 題不詳 1962年頃



北大農場 1957年頃



003 | 題不詳 1950年代



004 | 題不詳 1950年代



不詳 1950年代



008 | 題不詳 1950年代



009 | 題不詳 1950年代



011 | 題不詳 1950-60年代



012 | セルフポートレート 1950-60年代

大西茂 写真と絵画

Onishi Shigeru: Photography and Painting

会期=2026年1月31日[土]~3月29日[日]

会場=東京ステーションギャラリー

休館日=月曜日(ただし2/23、3/23は開館)、2/24[火]

開館時間=10:00~18:00(金曜日~20:00)*入館は閉館30分前まで

入館料=一般1,300(1,100)円、高校・大学生1,100(900)円、中学生以下無料

*()内は前売料金[12/15~1/30、オンラインチケットで販売]

*障がい者手帳等持参の方は200円引き(介添者1名は無料)

*オンラインwww.e-tix.jp/ejrcf_gallery/(前売券・当日券)または当館1階入口(当日券)でチケット販売

主催:東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化財団)

企画協力:MEM

協賛:T&D保険グループ

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

交通=JR東京駅丸の内北口改札前

<https://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

Tel.03-3212-2485

公式Instagram @tokyostationgallery

次回展

スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー(仮称)

2026年4月18日[土]~6月21日[日]

広報お問い合わせ先

東京ステーションギャラリー 学芸室(羽鳥)

ahatori@ejrcf.or.jp Tel. 03-3212-2763

広報用ダウンロードシステム

下記プレス向けページにアクセスし、広報用資料(プレスリリース、
広報用画像データ貸出など)をお申込みいただけます。

*初回のみ新規ご登録が必要です。

<https://www.artpr.jp/tsg/onishi26>

展覧会
になる。
伝説的

写真と絵画 Onishi Shigeru: Photography and Painting

大西

